

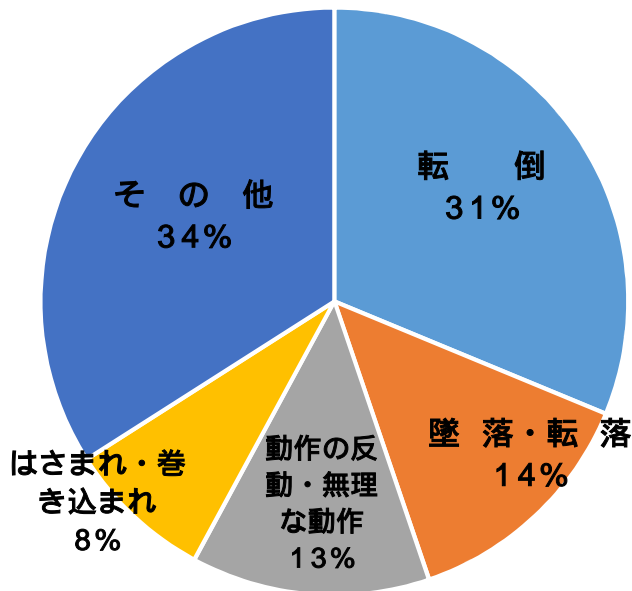
# 胆振から 死亡労働災害を撲滅しよう！

室蘭労働基準監督署独自スローガン

現場力で築く だれもが安心して働ける**いぶり**

## 全産業における労働災害の型別割合・起因物(室蘭署管内)

事故の型別割合～全産業  
(H30.1.1～R4.4.30)



転倒災害 起因物別	件数	割合
仮設物・建築物・構築物等	169	53.8%
環境等	116	36.9%
そのほか	29	10.3%

墜落・転落災害 起因物別	件数	割合
仮設物・建築物・構築物等	64	47.1%
用具	35	25.7%
そのほか	37	27.2%

動作の反動・無理な動作 起因物別	件数	割合
荷	38	28.8%
その他の起因物	27	20.5%
そのほか	67	50.8%

第13次労働災害防止計画期間中である平成30年1月1日から令和4年4月30日までの間で、転倒災害、墜落・転落災害、動作の反動・無理な動作、はさまれ・巻き込まれ災害が全体の災害の7割弱を占める状況でした。また、転倒、墜落・転落、動作の反動・無理な動作災害の起因物を見てみると、転倒災害では仮設物・建築物・構築物等と環境等を併せると全体の9割を、墜落・転落災害では、仮設物・建築物・構築物等とはしご等の用具を併せると全体の7割を、動作の反動・無理な動作災害では、荷やその他の起因物等を併せると全体の5割弱を占める状況でした。

さらに転倒災害の特徴としては、例年1月から3月までの間「凍結による転倒災害」、「スリップによる交通事故」等の凍結や雪に関連した災害と例年6月から10月までの間路面の濡れによる雨に関連した災害となっていました。

# 労働災害防止のための取組～年度当初～

## 1.事業場のトップによる安全衛生方針の表明と安全衛生計画の策定

事業場のトップが明確な「安全衛生方針」を示し、安全衛生の基本方針を掲げ、職場の安全衛生活動を計画的に実施してください。

- ・基本方針はスローガンではなく、具体的に示してください。
- ・基本方針は事業場内での掲示、朝礼での唱和、教育の実施等により、労働者に確実に周知してください。
- ・基本方針に基づいた安全衛生計画を策定してください。

## 2.安全衛生管理体制の確立

労働災害防止、労働者の健康管理は業務を行う上で重要であり、その責務は事業主にあることはいうまでもありません。

しかし、事業主だけですべてを行うことは困難です。安全衛生管理担当者の選任、安全衛生委員会等の設置など安全衛生管理体制を整備することで、組織的な安全衛生管理に取り組んでください。

## 3.機械設備・作業環境の安全化

機械の安全装置や安全カバーは有効な状態で使用し、安全装置等を解除した場合には使用できないようなシステムの導入を図ってください。

高所や階段など墜落等の危険性がある場所には、手すりや滑り止めを取り付けるとともに、必要に応じ墜落制止用器具を使用してください。

床面や通路は滑りにくいものにしてください。

床面や通路の段差はできる限りなくし、改善できないときには段差の表示をしてください。

作業するのに必要な明るさを確保してください。

労働安全衛生のリスクアセスメントに取り組んでください。

## 4.作業方法の確立

作業の内容をきちんと把握し、安全な作業方法を定め、労働者に周知してください。

作業場所は整理整頓し、作業空間を確保してください。

労働者に安全・衛生上、負担をさせないような作業方法にしてください。

## 5.安全衛生教育の実施

資格が必要な作業には有資格者を従事させるとともに、無資格者による就業がないように、計画的に取得させてください。

労働者を雇い入れた場合、作業内容を変更した場合には、安全衛生に関する教育を実施し、作業手順を順守するよう周知徹底してください。

うっかり、ぼんやりなどヒューマンエラーによる災害を防止するため、定期的に教育を実施し、安全衛生意識の高揚に努めてください。

交通ルールを順守し、安全運転に努めてください。

# 令和4年度全国安全週間 (準備期間：R4.6.1-6.30、本週間：R4.7.1-7.7)

今年度も企業をはじめ関係各界における安全意識の高揚と安全活動の定着を図るため、スローガンを

「安全は 急がず焦らず怠らず」

として、展開いたします。

新型コロナウイルス感染対策に十分留意のうえ、各事業場での自主的な安全衛生活動を進めましょう。

実施要領等は  
こちら



(中災防)



(厚生労働省)

## 労働時間相談・支援班による訪問支援

労働時間、年次有給休暇等についてお悩み事がありましたら、室蘭労働基準監督署内に設置した、「労働時間相談・支援班」(電話(0143)23-6131)あて相談してください。

(R4.6)